

2年 ファインアート科

写真と美術

担当教員 松蔭浩之

受講アトリエ [502] 修得単位：1単位

2022/10/04(火)- 2022/11/15(火)

9:20-10:50/11:00-12:30

授業内容

歴代写真家の作品を紹介し、読み解きながらの座学と、デジタルカメラの扱い方を指導しつつ、ワークショップ形式で制作を重ねる。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月4日	火	○	写真の誕生/カメラの仕組み		授業カリキュラム	
2	10月11日	火	○	デジタルカメラ入門1		授業カリキュラム	
3	10月18日	火	○	私の写真論1/カルティエ・ブレッソンを「読む」		授業カリキュラム	
4	10月25日	火	○	私の写真論2/WS「モノクロ・ユニバース」		授業カリキュラム	
5	11月1日	火	○	デジタルカメラ入門2/スティルライフ		授業カリキュラム	
6	11月8日	火	○	セルフポートレート/森村泰昌		授業カリキュラム	
7	11月15日	火	○	グループ展示/講習会		授業カリキュラム	

学習目標

写真の成り立ちから、構図や光の捉え方などを享受しつつ、「写真とはなにか？」を考察し、絵画制作に活用することを目標にする。

予習・準備物

カメラ（フィルム、デジタル問わず）。スマートフォンでも可

注意事項

評価方法

授業態度及び提出課題による採点

絵画講座

担当教員 宮田徹也

受講アトリエ【502】 修得単位：1単位

2022/10/01(土)- 2023/01/21(土)

11:00-12:30

授業内容

様々な文献を読んで、考え、意見を交換する。芸術、社会学、経済学、経営学、物理学、宇宙論、量子力学、脳科学、動物行動学、先史学等である。意思が通じるコミュニケーションは、対面でもオンラインでも可能だ。レポートとは課題ではなく、自主的な筈だ。予習、学習、復習は、一生、続いていく。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月1日	土	○	オリエンテーション。		実技カリキュラム	
2	10月22日	土	○	ハンナ・アーレントの思想と芸術。		実技カリキュラム	
3	10月29日	土	○	佐伯啓思の思想と芸術。		実技カリキュラム	
4	11月19日	土	○	カルロ・ロヴェツリ思想と芸術。		実技カリキュラム	
5	11月26日	土	○	語りかけることと芸術(上)。		実技カリキュラム	
6	12月3日	土	○	語り掛けることと芸術(下)。		実技カリキュラム	
7	1月14日	土	○	ネアンデルタール人とホモサピエンス。		実技カリキュラム	
8	1月21日	土	○	暗黒舞踏という芸術。		実技カリキュラム	
9	2月10日	土	○	楠木建『ストーリーとしての競争戦略』と芸術。		実技カリキュラム	
10	2月18日	土	○	GAFaと5Gとこれからの芸術。		実技カリキュラム	
11	2月27日	月	○	まとめ。		実技カリキュラム	

学習目標

芸術を通じて、人間を知る。己と他者を区別して考え、他者と自己の気持ちを理解し、他者の立場になって自己を考える。人間を知るためには、人文科学、自然科学、科学に定義されていないものも学ぶ必要がある。芸術が、人間を取り巻く事物と事象のどこに位置するのかを確認しなければならない。それを、制作に繋げる。

予習・準備物

予め『芸術を愛し、求める人々へ』（論創社 | 2020年）を読み終えて授業に参加して下さい。各授業で参考文献のコピーを配布します。

注意事項

出席重視です。うまく言葉にならなくても発言するように頑張ってください。できるようになりたいと願えば、叶います。しかし願わなければ、何も進まないのです。難しいことを考えずに、直感で発言しましょう。発言することで、自己を発見することができます。そして、互いの話を良く聞き、解釈し、発言のキャッチボールを目指しましょう。苦手を克服し、楽しく授業を共に行いましょう。

評価方法

レポート提出による採点。50%。毎回白紙を配布しますので、そこにメモして提出して下さい。授業への取り組み50%。

絵画と物語

担当教員 山口 藍

受講アトリエ [802] 修得単位：3単位

2022/09/01(木)- 2022/10/14(金)

9:20-12:30/13:30-16:30

授業内容

描こうとする題材（テーマ）を任意の物語や散文などの一場面に設定し、それを絵画作品として表現するために最も適した支持体を選び（あるいは作り）制作する。作品を構成するあらゆる要素に意味を持たせたり、それを伝えたりできると意識することで、作品制作において色々な角度から思考し掘り下げていくことにつなげていく。

※キャンバス以外にも、あらゆる物に支持体の可能性を探ってみること。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月1日	木	○	オリエンテーション		自主制作	
2	9月2日	金		自主制作		自主制作	
3	9月3日	土		フランス語/自主制作		自主制作	
4	9月4日	日					
5	9月5日	月		自主制作		自主制作	
6	9月6日	火		現代美術演習B	○	制作指導	
7	9月7日	水		自主制作		自主制作	
8	9月8日	木		自主制作		自主制作	
9	9月9日	金		自主制作	○	制作指導	
10	9月10日	土		フランス語/自主制作		自主制作	
11	9月11日	日					
12	9月12日	月		自主制作		自主制作	
13	9月13日	火		現代美術演習B	○	制作指導	
14	9月14日	水		自主制作		自主制作	
15	9月15日	木		自主制作		自主制作	
16	9月16日	金		自主制作	○	制作指導	
17	9月17日	土		フランス語/後期ガイダンス		就職セミナー	
18	9月18日	日					
19	9月19日	月		敬老の日			
20	9月20日	火		現代美術演習B	○	制作指導	
21	9月21日	水		自主制作		自主制作	
22	9月22日	木		自主制作		自主制作	
23	9月23日	金		秋分の日			
24	9月24日	土		創立記念振替日			
25	9月25日	日					
26	9月26日	月		自主制作		自主制作	
27	9月27日	火		現代美術演習B	○	制作指導	
28	9月28日	水		自主制作		自主制作	
29	9月29日	木		自主制作		自主制作	
30	9月30日	金	○	制作指導		海外講座	
31	10月1日	土		フランス語 絵画講座		自主制作	
32	10月2日	日					
33	10月3日	月		自主制作		自主制作	
34	10月4日	火		写真と美術	○	制作指導	
35	10月5日	水		自主制作		自主制作	
36	10月6日	木		自主制作		自主制作	
37	10月7日	金	○	制作指導		海外講座	
38	10月8日	土		合同講習会			

39	10月9日	日			
40	10月10日	月	スポーツの日		
41	10月11日	火	写真と美術	○	制作指導
42	10月12日	水	自主制作		自主制作
43	10月13日	木	自主制作		自主制作
44	10月14日	金	自主制作	○	講評会

学習目標

支持体と描画の関係性

平面絵画において、特に支持体が作品の内容にもたらす影響を改めて考え、実際の制作を通して描画との相互の関係性を探る。

予習・準備物

こちらで用意した物語や詩の中から各々興味あるものについて読み込みや必要なリサーチをし、同じ題材の選択者同士で話し合いをしながら、各々がその題材の新しい解釈を作品にしていく。また、内容に相応しい支持体の素材を同時進行で考えていくため、普段からキャンバス以外で支持体として使用してみたいものや可能性のあるものを考えておくとうまい。

注意事項

自分が選択した題材および素材に真摯に向き合い、今後の制作活動にもつなげていけるような作品にするため、指導日には必ず話し合えるようにしましょう。

※ 状況により講評がzoomになる場合、可能な限り前日までに学校に課題を提出しておいてください。(課題内容の性質上、質感なども含め講評するため)

評価方法

課題提出による採点

2年 ファインアート科

現代美術演習B

担当教員 黒瀬陽平

受講アトリエ [502] 修得単位：1単位

2022/06/21(火)- 2022/09/27(火)

9：20-10：50/11：00-12：30

授業内容

現代美術への理解を深め、作品制作を進めてゆくために、講義と課題制作、セッション（課題作品についてのプレゼン、ディスカッション）、講評会を組み合わせたカリキュラムを組んでいます。課題制作とセッションを繰り返すことで、学生ひとりひとりの制作プロセスに応じた指導を行います。講義では狭義の現代美術に限らず、サブカルチャーも含めた他ジャンル、他メディアの作品を数多く扱います。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月21日	火	○	オリエンテーション+講義①②		実技カリキュラム	
2	6月28日	火	○	課題1セッション		実技カリキュラム	
3	7月5日	火	○	講義③④		実技カリキュラム	
4	7月12日	火	○	課題2セッション（中間講評会）		実技カリキュラム	
5	9月6日	火	○	課題3セッション		実技カリキュラム	
6	9月13日	火	○	講義⑤⑥		実技カリキュラム	
7	9月20日	火	○	課題4セッション		実技カリキュラム	
8	9月27日	火	○	最終講義+総評		実技カリキュラム	

学習目標

カリキュラム全体を通して各自が制作テーマ、モチーフを発見し、自分なりの制作プロセスを組み立て、作品を完成させることを目標とします。講義では、個別の作品分析、事例分析を中心に進めますが、学生からの質問やリクエストに応じて内容は変化します。

予習・準備物

授業内でその都度指示する

注意事項

特になし

評価方法

授業態度及び提出課題による採点

ドローイング

担当教員 山本晶、工藤礼二郎

受講アトリエ [802] 修得単位：2単位

2022/06/27(月)- 2022/07/16(土)

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

「7日間の色と形」「7日間の身体性」「自分の表現とは？」を1週間ごとに様々な手法でドローイング。イメージの展開や絵画としての多様な造形要素とはどういうものか実践をとおして探る。最終的に出来上がったたくさんのドローイングを自分で編集。ドローイングブックにして綴じ、作品として自立しうるかを検証する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月27日	月		日本語	○	オリエンテーション/造形要素のサンプリング	指導/工藤・山本
2	6月28日	火		現代美術演習B		自主制作	
3	6月29日	水		造形要素のサンプリング		造形要素のサンプリング	
4	6月30日	木		絵画概論	○	造形要素のサンプリング	指導/山本
5	7月1日	金		造形要素のサンプリング		造形要素のサンプリング	
6	7月2日	土		自主制作/フランス語		造形要素のサンプリング	
7	7月3日	日					
8	7月4日	月		総合的ドローイング制作	○	総合的ドローイング制作	指導/山本
9	7月5日	火		現代美術演習B		自主制作	
10	7月6日	水		総合的ドローイング制作		総合的ドローイング制作	
11	7月7日	木		絵画概論		総合的ドローイング制作	
12	7月8日	金		総合的ドローイング制作	○	総合的ドローイング制作	指導/工藤
13	7月9日	土		自主制作/フランス語		就職セミナー	
14	7月10日	日					
15	7月11日	月		総合的ドローイング制作	○	総合的ドローイング制作	指導/山本
16	7月12日	火		現代美術演習B		総合的ドローイング制作	
17	7月13日	水		総合的ドローイング制作		総合的ドローイング制作	
18	7月14日	木		絵画概論		総合的ドローイング制作	
19	7月15日	金		総合的ドローイング制作		総合的ドローイング制作	
20	7月16日	土		フランス語 ガイダンス	○	講評	指導/山本

学習目標

絵画に対する視野を広げ、その多様性と可能性に触れることで、自らの表現世界をより豊かなものにする。

予習・準備物

様々な画材（授業内で説明します）

注意事項

評価方法

提出課題による採点

2年 ファインアート科

現代美術演習B

担当教員 黒瀬陽平

受講アトリエ [502] 修得単位：1単位

2022/06/21(火)- 2022/09/27(火)

9：20-10：50/11：00-12：30

授業内容

現代美術への理解を深め、作品制作を進めてゆくために、講義と課題制作、セッション（課題作品についてのプレゼン、ディスカッション）、講評会を組み合わせたカリキュラムを組んでいます。課題制作とセッションを繰り返すことで、学生ひとりひとりの制作プロセスに応じた指導を行います。講義では狭義の現代美術に限らず、サブカルチャーも含めた他ジャンル、他メディアの作品を数多く扱います。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月21日	火	○	オリエンテーション+講義①②		実技カリキュラム	
2	6月28日	火	○	課題1セッション		実技カリキュラム	
3	7月5日	火	○	講義③④		実技カリキュラム	
4	7月12日	火	○	課題2セッション（中間講評会）		実技カリキュラム	
5	9月6日	火	○	課題3セッション		実技カリキュラム	
6	9月13日	火	○	講義⑤⑥		実技カリキュラム	
7	9月20日	火	○	課題4セッション		実技カリキュラム	
8	9月27日	火	○	最終講義+総評		実技カリキュラム	

学習目標

カリキュラム全体を通して各自が制作テーマ、モチーフを発見し、自分なりの制作プロセスを組み立て、作品を完成させることを目標とします。講義では、個別の作品分析、事例分析を中心に進めますが、学生からの質問やリクエストに応じて内容は変化します。

予習・準備物

授業内でその都度指示する

注意事項

特になし

評価方法

授業態度及び提出課題による採点

物質と絵画

担当教員 伊藤泰雅

受講アトリエ [802] 修得単位：3単位

2022/05/30(月)- 2022/06/25(土)

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

主題について文章(言葉)と素描によりできるだけ明確にする。単色、有色の素描、コラージュによりエスキースを重ねる。支持体を選択(複数も可)し、手法を決める。物としての強度について意識しながら作品を制作する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	5月30日	月		日本語	○	オリエンテーション/デッサン	
2	5月31日	火		現代美術演習A	○	デッサン	
3	6月1日	水		デッサン		デッサン	
4	6月2日	木		絵画概論	○	デッサン/コラージュ	
5	6月3日	金		自主制作/日本語		デッサン/コラージュ	
6	6月4日	土		自主制作/フランス語	○	デッサン採点/下地作り	
7	6月5日	日					
8	6月6日	月		自主制作/日本語		エスキース/下地作り	
9	6月7日	火		現代美術演習A	○	エスキース/下地作り	
10	6月8日	水	○	エスキース/下地作り	○	エスキース/下地作り	
11	6月9日	木		絵画概論		タブロー	
12	6月10日	金		自主制作/日本語		自主制作/避難訓練	
13	6月11日	土		自主制作/フランス語/日本語		海外講座	
14	6月12日	日					
15	6月13日	月		自主制作/日本語		タブロー	
16	6月14日	火		現代美術演習A	○	エスキース採点/タブロー	
17	6月15日	水		タブロー		タブロー	
18	6月16日	木		絵画概論		タブロー	
19	6月17日	金		自主制作/日本語		タブロー	
20	6月18日	土		自主制作/フランス語	○	タブロー	
21	6月19日	日					
22	6月20日	月		自主制作/日本語		タブロー	
23	6月21日	火		現代美術演習B	○	タブロー	
24	6月22日	水		タブロー	○	タブロー	
25	6月23日	木		絵画概論		タブロー	
26	6月24日	金		自主制作/日本語		タブロー	
27	6月25日	土		自主制作/フランス語	○	講評会	

学習目標

主題を明確化し、素材と手法の選択の過程で、作家としての自覚とこだわりを喚起する。物質性、絵画性の両面から制作を見直し、完成度の高い作品を1点以上制作する。

予習・準備物

制作ノート(テーマ,モチーフを書き出しておく) モチーフ資料(描きたい物,写真,画像等) コラージュのための台紙となる厚紙(B4以上)

注意事項

デッサン=木炭,鉛筆など 有色デッサン=水彩,パステルなど 制作=主にタブロー 採点日厳守

評価方法

デッサン,エスキース,タブローの三点を採点。理解度,完成度,作品の魅力から総合的に評価。

2年 ファインアート科絵画造形専攻

絵画技法実習B(混合技法)

担当教員 安藤孝浩

受講アトリエ [901、802] 修得単位：3単位

2022/05/07(土)- 2022/05/28(土)

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

有色下地を施したキャンバスにエマルジョンテンペラと油彩の積層からなる描画により、視覚的リアリズムを追求する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考	
1	5月7日	土		フランス語/自主制作	○	オリエンテーション 下地塗り3層乾燥後に図版の写し	図版は予め学生が準備	
2	5月8日	日						
3	5月9日	月		日本語/自主制作	○	地透層(インプリマトゥーラ) 白色浮出		
4	5月10日	火		現代美術演習A	○	油絵の具1層目及び白色浮出	卵テンペラ 溶油の調合 他	
5	5月11日	水	2年研修旅行					
6	5月12日	木						
7	5月13日	金		日本語/自主制作		絵画材料講座		
8	5月14日	土		フランス語/日本語/自主制作		自主制作		
9	5月15日	日						
10	5月16日	月		日本語/自主制作	○	油絵の具2層目以降及び白色浮出		
11	5月17日	火		現代美術演習A	○	制作指導		
12	5月18日	水		自主制作		自主制作		
13	5月19日	木		絵画概論		自主制作		
14	5月20日	金		日本語/自主制作		絵画材料講座		
15	5月21日	土		フランス語/日本語/自主制作		自主制作		
16	5月22日	日						
17	5月23日	月		日本語/自主制作	○	制作指導		
18	5月24日	火		現代美術演習A	○	制作指導		
19	5月25日	水		自主制作		自主制作		
20	5月26日	木		絵画概論		自主制作		
21	5月27日	金		日本語/自主制作		絵画材料講座		
22	5月28日	土		フランス語/日本語/自主制作	○	講評会		

学習目標

ルネサンスから近代に至るまでの西洋絵画の主な油彩技法である油彩とテンペラによる混合技法を修得することを目的とする。

予習・準備物

描きたい人物の図版(写真)を各自準備する。図版はなるべく陰影があるものが望ましい。

尚図版は初日オリエンテーションの際に講師がチェックします。描きにくい図版の場合変更してもらった場合があります。

注意事項

評価方法

提出課題による採点

2年 ファインアート科絵画造形専攻

絵画材料講座

担当教員 工藤礼二郎

受講アトリエ【802、901】 修得単位：0.5単位

2022/04/15(金)-2022/05/27(金)

13:30-16:30

授業内容

油絵具のそれぞれの色相による特徴や、様々なワニスの性質を知り、それらの制作と表現に活かすことができるようにする。半吸湿性キャンバスを製作し、市販の油性キャンバスとの違いを体験する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月15日	金		日本語	○	油絵具についての解説	
2	4月22日	金		日本語	○	木枠の組み立て・市販キャンバス張込み	F10号使用
3	5月13日	金		日本語	○	ローキャンバス張込み・膠引き	F20号使用
4	5月20日	金		日本語	○	エマルジョン白色塗料制作・塗布	
5	5月27日	金		日本語	○	研磨	

学習目標

油絵具における顔料や展色剤の性質やキャンバスの構造や特性に触れることで絵画材料と表現の関係性を知る。

予習・準備物

特になし

注意事項

今年度の絵画造形専攻2年生に日本語の受講者が在籍していないため、アトリエ使用状況によってAMから授業を行うこともある。
随時連絡をするので注意すること。

評価方法

講義内容の習熟度を評価します

2年 ビジュアルデザイン科/ファインアート科

フランス語II

担当教員 内田雅樹

受講アトリエ【501】 修得単位：2単位

2022/04/16(土)-2023/02/18(土)

9：20-10：50

授業内容

前期は主に、ステップアップした一年次の延長として展開し、テキストの問題練習なども利用しながら表現の拡充と定着を図ります。後期は、観光など現地で体験する観点を切り口としながら、シチュエーション別の対応力を養います。また、個人の関心に任せたフランス旅行の機会を想定して、自ら情報を収集して簡単なしおりを制作してもらい、フランスをより身近に体験する時間を設けます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月16日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
2	4月23日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
3	5月7日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
4	5月14日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
5	5月21日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
6	5月28日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
7	6月4日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
8	6月11日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
9	6月18日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
10	6月25日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
11	7月2日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
12	7月9日	土	○	前期まとめ		実技カリキュラム	
13	7月16日	土	○	前期まとめ		実技カリキュラム	
14	9月3日	土	○	会話と演習		実技カリキュラム	
15	9月10日	土	○	会話と演習		実技カリキュラム	
16	9月17日	土	○	会話と演習		実技カリキュラム	
17	10月1日	土	○	会話と演習		実技カリキュラム	
18	10月15日	土	○	会話と演習		実技カリキュラム	
19	10月22日	土	○	会話と演習		実技カリキュラム	
20	10月29日	土	○	会話と演習		実技カリキュラム	
21	11月5日	土	○	会話と演習		実技カリキュラム	
22	11月12日	土	○	会話と演習		実技カリキュラム	
23	11月19日	土	○	会話と演習		実技カリキュラム	
24	11月26日	土	○	会話と演習		実技カリキュラム	
25	12月3日	土	○	会話と演習		実技カリキュラム	
26	1月14日	土	○	後期まとめ		実技カリキュラム	
27	1月21日	土	○	後期まとめ		実技カリキュラム	
28	2月4日	土	○	後期まとめ		実技カリキュラム	
29	2月10日	金	○	後期まとめ		実技カリキュラム	
30	2月18日	土	○	後期まとめ		実技カリキュラム	

学習目標

フランス語Ⅰの修了者を対象とします。一年次のコミュニケーション力にさらに磨きをかけながら、会話・文法の両面でより幅広い表現力と知識の習得を目指します。また、「話す」「聞く」ことがより安定するように、「読む」「書く」側面も少しずつ意識してフランス語を総合的に身につけていきます。

予習・準備物

フランス語Ⅰで学んだ内容を常に参照できるように、使用してきたノートとテキストが常時必要になります。

注意事項

初回到詳しいガイダンスを行いますので必ず出席して下さい。

評価方法

出席が重視され、教場での平常点が主な評価となります。また、前期・後期のまとめの回の出席が単位取得の絶対条件になります。

絵画概論

担当教員 早見 堯

受講アトリエ【502】 修得単位：1単位

2022/04/14(木)- 2022/07/14(木)

11:00-12:30

授業内容

日本その他のモダン・アートや現代美術の作品を画像で映しながら、それぞれの作品がどう見えるのかを理解し、作品がどういうふうになり立っているのかを考えます。そして作品からえられる感覚的なテスト(味わい)を吟味してみましょう。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月14日	木	○	オリエンテーション；作品を見て「わかる」＝連想する、自分の言葉に置き換えて理解		実技カリキュラム	
2	4月21日	木	○	作品を見て「感動する」；連想が拒絶されて作品のあるがままの姿を受け入れる		実技カリキュラム	
3	5月19日	木	○	絵画の成り立ち方-1；形の出現と消滅		実技カリキュラム	
4	5月26日	木	○	絵画の成り立ち方-2；正面性、平面性、絵画と立体の違い		実技カリキュラム	
5	6月2日	木	○	絵画の成り立ち方-3；色彩表現をめぐって		実技カリキュラム	
6	6月9日	木	○	色と構成の力；色彩による表現力、構図による表現力		実技カリキュラム	
7	6月16日	木	○	絵画の表現性-1；同次元結合と異次元結合		実技カリキュラム	
8	6月23日	木	○	絵画の表現性-2；同次元結合と異次元結合		実技カリキュラム	
9	6月30日	木	○	美術館のコレクションの作品から・展覧会の作品から-1；絵画に問題はあるのか		実技カリキュラム	
10	7月7日	木	○	美術館のコレクションの作品から-2展覧会の作品から-2；何が絵画の問題なのか		実技カリキュラム	
11	7月14日	木	○	サステナビリティとしての絵画；イメージとオブジェ・平面性と平面体その他の絵画のキーワードを、作品を見ながら検討		実技カリキュラム	

学習目標

絵画は支持体や絵具などの物質できている。物質に心はない。その物質が私たちの心を揺れ動かす。なぜ？心のない物質が感情表現できるのはどうしてなのか。絵画を見ながらこうした謎を考える糸口をつかみたい。

予習・準備物

予習；毎回のテーマとアーティストを確認して授業内容を予想してみよう。準備物；知りたい&わかりたいという情熱

注意事項

毎回最初に今週のニュースを提示します。描くことと見ることは相互交通だという気持ちで人が描いた絵画を見て自分が描くことにつなげていく

評価方法

①毎回の授業後の「今日わかったこと」一言短文作成 ②最後の「わたしにとって絵画とは」レポート作成

2年 ファインアート科

現代美術演習A

担当教員 山本 晶

受講アトリエ [502] 修得単位：1単位

2022/04/12(火)-2022/06/14(火)

9:20-10:50/11:00-12:30

授業内容

発想から表現へ、どのようなアプローチをすればいいのかを実践を通じて探ります。個人の視点がどのように表現方法につながるのか。個人の内側にある発想が公共空間に置かれた時にどのように映るのか。演習を通して体験します。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月12日	火	○	オリエンテーション		実技カリキュラム	デッサン道具・画用紙（貸出し画板と同じ大きさを用意）・画板
2	4月19日	火	○	演習Ⅰ：自己と表現		実技カリキュラム	1年の最後の授業に制作した作品を持参
3	4月26日	火	○	演習Ⅰ：他者の考え		実技カリキュラム	アイデアを出す方法
4	5月10日	火	○	演習Ⅱ：身体		実技カリキュラム	自分の身長と同じ長さの紙
5	5月17日	火	○	演習Ⅲ：色について		実技カリキュラム	水彩絵具・複数の石膏像
6	5月24日	火	○	演習Ⅳ：描く/描かれるもの		実技カリキュラム	支持体と描画材
7	5月31日	火	○	演習Ⅴ：破壊と再構成の自画像		実技カリキュラム	本、雑誌など加工してよい書籍1冊持参
8	6月7日	火	○	演習Ⅵ：mapping		実技カリキュラム	地図・のり・カッター
9	6月14日	火	○	講評		実技カリキュラム	

学習目標

多様化する美術表現を体験し、表現の可能性の幅、及び表現は唯一ではなく複数であることを発見する。

予習・準備物

この授業は1回につき1つの制作をします。画材や道具は常に用意しておいてください。

講義室あるいはアトリエでの作業になりますがその都度お伝えします。

各授業の最後に次回準備するものをお伝えします。

注意事項

評価方法

制作姿勢・作品による採点

2年 ファインアート科絵画造形専攻

絵画技法実習(グリザイユ)

担当教員 工藤礼二郎

受講アトリエ [802、901] 修得単位：1単位

2022/04/11(月)- 2022/04/26(火)

9：20-12：30 / 13：30-16：30

授業内容

ファン・アイクに代表される初期フランドル派の油彩技法によるパネルを支持体としたグリザイユ(モノクロームの絵画)を制作する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月11日	月		日本語	○	ガイダンス・地塗り・撮影	
2	4月12日	火		現代美術演習A		地塗り・図版加工・図版決定	
3	4月13日	水		支持体研磨	○	支持体研磨・トレース・不透明層描画	
4	4月14日	木		絵画概論		不透明層描画	
5	4月15日	金		日本語		絵画材料講座	
6	4月16日	土		フランス語2/自主制作	○	不透明層描画・乾燥	
7	4月17日	日					
8	4月18日	月		日本語	○	乾燥確認・不透明層研磨	
9	4月19日	火		現代美術演習A	○	グラッシィ・描写	
10	4月20日	水		グラッシィ・描写		グラッシィ・描写	
11	4月21日	木		絵画概論		グラッシィ・描写	
12	4月22日	金		日本語		絵画材料講座	
13	4月23日	土		フランス語2/自主制作		グラッシィ・描写	
14	4月24日	日					
15	4月25日	月		日本語	○	講評会	
16	4月26日	火		現代美術演習A		追加制作/片付け	

学習目標

油彩画が生まれた初期ルネサンス技法を通じて絵画の物理的構造やその効果を体験する。

予習・準備物

スマートフォン、面相筆、平筆 (小)

注意事項

評価方法

提出課題による採点

本科1年/ファインアート科2年/本科3年

日本語1(留学生対象)

担当教員 蔣 燕萍

修得単位数：3単位

2022/04/11(月)-2022/6/27(月)

授業内容

9：20-10：50/11：00-12：30

- ・ 言語知識、読解、聴解の実戦練習。
 - ・ 模擬試験。
- ※留学生対象授業。

授業スケジュール/計画

	出講日	曜日	AM	教室	PM	備考
1	4月11日	月	N1対策	501	実技カリキュラム	
2	4月15日	金	N1対策	501	実技カリキュラム	
3	4月18日	月	N1対策	501	実技カリキュラム	
4	4月22日	金	N1対策	501	実技カリキュラム	
5	4月25日	月	N1対策	501	実技カリキュラム	
6	5月9日	月	N1対策	501	実技カリキュラム	
7	5月13日	金	N1対策	501	実技カリキュラム	
8	5月14日	土	N1対策	501	実技カリキュラム	
9	5月16日	月	N1対策	501	実技カリキュラム	
10	5月20日	金	N1対策	501	実技カリキュラム	
11	5月21日	土	N1対策	401	実技カリキュラム	
12	5月23日	月	N1対策	501	実技カリキュラム	
13	5月27日	金	N1対策	501	実技カリキュラム	
14	5月28日	土	N1対策	901	実技カリキュラム	
15	5月30日	月	N1対策	501	実技カリキュラム	
16	6月3日	金	N1対策	501	実技カリキュラム	
17	6月6日	月	N1対策	501	実技カリキュラム	
18	6月10日	金	N1対策	501	実技カリキュラム	
19	6月11日	土	N1対策	901	実技カリキュラム	
20	6月13日	月	N1対策	501	実技カリキュラム	
21	6月17日	金	N1対策	501	実技カリキュラム	
22	6月20日	月	N1対策	501	実技カリキュラム	
23	6月24日	金	N1対策	501	実技カリキュラム	
24	6月27日	月	N1対策	501	実技カリキュラム	

学習目標

- ①日本語能力試験N1対策：N1の試験に合格できる力をつける。
- ②語彙力の向上。

予習・準備物

筆記用具

注意事項

取り組み姿勢による採点

評価方法

レポート提出並びに取り組み姿勢による採点